

2012年度 聖路加看護学会 評議員会報告

日 時：平成24年9月21日〔金〕17：30～18：30

場 所：聖路加看護大学2号館 4階講義室

出席者：評議員19人（うち理事10人・監事1人）、指名理事2人（会計担当）・第17回大会長（＝現理事長兼任）・第18回大会長（秋元評議員）、委任状11通

<審議事項>

1. 理事会報告（山田理事長）

(1) 理事会報告：法人化を目指し会計年度を変更したため、2012年度は移行期にあたり期間が1.5年である。会費の追加徴収をせずに運営することが決まっている。会計を強化するため、担当理事を3人おき、税理士のコンサルテーションを受けている。2012年度の学術誌の発行は2号予定であったが、研究助成の開始に伴い査読中の論文が増えている。学会誌発行間隔が空くことによる会員の不利益を回避するため、2012年度事業計画であった2号発行を3号発行とすることとなった。予算は繰越金を用いるが、学術推進を優先することを理事会で確認し1巻追加を決定した。そのため、補正予算の審議を本日より予定している。また、他の学会にならって、学術大会号を学会誌の巻数と数えないこととし、今年度は3巻の発行となる。

(2) 役員任期延長に伴う申し合わせ事項：移行期に伴う役員・委員の任期変更（1年から1.5年）についての申し合わせ事項を作成した。

2. 庶務（森理事）：会員数（655人）および、活動報告がされた。

3. 学会誌編集委員会（亀井理事）：学会誌の刊行予定数が2巻から3巻となったこと、投稿規定の改定、査読ガイドライン作成、編集委員会規程の作成などの報告がされた。

4. ニュースレター委員会（小山理事欠席のための山田理事長代行）：ニュースレターを2号発行した旨、報告された。

5. 学術交流委員会（松谷理事）：研究助成金執行状況、今年度の学術交流会（2012年9月22日）開催等の報告がされた。

6. 高度実践看護開発検討委員会（山田理事長）：梅田委員が看護系学会等社会保険連合（以下、看保連）の委員として活動している。看保連からの調査依頼「看護ケア技術のリ

ストップ（一次調査）のお願い」について、学会評議員にアンケート調査を行った結果が報告された。

7. 会計（本田理事）：一般法人化に向け公益法人会計基準に基づいて会計管理を開始し、税理士と顧問契約を行った旨、また、年会費納入率、補正予算案作成等について報告された。

<報告事項>

1. 2012年度補正予算案（本田理事）：学会誌発行に伴う補正予算について説明がされ、承認された。

2. 2013年度事業計画案（山田理事長）：事業計画案の説明がされ、承認された。

3. 2013年度予算案（田代真理理事）：公益法人会計基準に基づいた項目での予算案の説明がされ、承認された。

4. 第19回学術大会長の推薦（山田理事長）：森田夏実評議員（慶応義塾大学）が理事会より推薦された。

5. 総会プログラムと進行表の確認：議長である山田学術大会長が理事長であるため、議長は井部副理事長が行うことが説明され、承認された。

6. その他：秋元第18回学術大会長より挨拶がされた。2013年9月28日、聖路加看護大学にて開催される。

7. 法人化について：山田理事長より、昨年度の総会において、法人化に向けて検討することが承認されている旨、説明があり、下記の発言があった。

・2012年度事業計画にある「法人化の検討について」については、理事会での討議内容を総会にて報告する必要があると思われる。

・本学会は会員数が少ないので、メリットデメリットをよく検討する必要がある。利潤を産んではいけないが、事業を行わなければいけなくなる。納税の義務が生じ、学術大会長の裁量権が低下し、法人化に伴いさまざまな手続が発生する。

これらの発言を受け、総会での報告内容を詳細に行うこと、引き続き理事会にて慎重に討議することが確認された。

以上